

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

12

2015 No.735

3 はじめの言葉

4 情報戦に仮想敵国も同盟国もない

田原文夫

終戦 70 年を経て、改めて日本では戦争が総括されていないと感じる。また、周辺国含めて、世界中が次の戦争体制で迫って来ていることを知るべきだ。戦争を放棄している憲法を楯に、安穩としているべきでない。まずは情報戦からである。

10 情報社会を考える その63

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

続く世紀のビッグチャレンジ

日ソ戦争の真最中 1922 年、ロシアで起こった「共産主義革命」は、周辺国を巻き込んだ世紀の大実験「共産主義経済圏ソ連邦」を創出してみせたものの、行き詰まりからペレストロイカ(大改革)で 1991 年、ソ連邦は崩壊した。

奇しくも同じ 1991 年 12 月、欧州連合条約に向けた協議がまとまり、1992 年 2 月に調印、1993 年 EU 欧州連合体がスタートした。これも世紀の大実験に違いない。

これは、超国家性という既存の国家の枠を超えた様々な機能を持っている点で注目されてきた経済共同体 EC の枠組を大きく発展させたものとも言えよう。が、その直接的な引き金になった狙いは、アメリカを中心にした経済圏、日本を中心にした経済圏に対抗出来る欧州経済圏の創出だった(ものである)。

12 オープンガバメント OG 24

情報社会をすすめる

その 58

水田 浩

1990 年代に紙によるワークフローをデジタルにして、メインフレームと端末を使って事務系、技術系で個別に行われるようになり、1995 年代にはインターネットが世界中で使えるようになってきた。そして、個別に開発されたシステムをより早く、より安く、より良くつかうために製品やシステムのライフサイクル全体の統合化を模索するようになっていた。そして、産業別、国別のシステムとデータを世界共通にしてより生産性の高いビジネスをするために、世界共通の情報基盤を作らなければならないという認識が世界中で起こっていた。そこで、CALS の一つの製品、システム、サービスを全ライフサイクルで、「情報は一度つくって、幾度も使う」という運動は世界規模で受け入れられた。一つの CALS という概念(言葉)で 1995 年から 2005 年に掛けて世界中が一つになって運動を起こすようになった。

1 7 連載 アーキテクチャ論 (56)

システムを保証する 4 つの視点 ～特性・リスク・対策・証拠～

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

今回は、システムが期待される特性を持つことを保証するための視点として、特性、リスク、対策、証拠が必要であることを説明する。次いで、この視点に基づいて、システム特性を分析するための図による表現方法 PRiME について説明する。また、PRiME の適用事例についても紹介する。さらに、PRiME 法と保証ケースならびにシステムグラムとの関係について述べる。

2 4 連載 日本再生と人材育成

人口減少／少子高齢化時代への挑戦 その 1 1

第 6 話 NKK プラント建設時代

Dr.ベスト

マルチ人間、スーパー人間と呼ばれてもいいほど、高度成長時代からバブル崩壊、そして今日に至るまで 4 回の定年退職（1 回目：企業の早期退職制度に基づく退職（52 才）、2 回目：同企業の関連会社における定年退職（60 才）、3 回目：某大学における定年退職（65 才）、4 回目：別の大学における定年退職（70 才））を経験しながらも「情報と人材」をテーマに働き続けてきた男がいる。その男の生き方は人口減少／少子高齢化時代への挑戦に何らかのヒントを与えることができるのではないかと思われる。その半生を「履歴書」的に紹介させていただきたい（編集部）。

3 1 IT 新時代とパラダイム・シフト

第 7 3 回 スマホ／デジカメの自撮り革命を理解する

根本忠明

自撮りは、今や、年齢、性別、国、身分、職業、場所、時間を問わず、様々な状況で行なわれる社会現象になった。世界的な自撮り現象は、カメラの歴史に革命が起きていることを示唆している。今やスマホ／デジカメの売れ筋は、自撮り機能の優劣に左右される。最近まで、メーカーは自撮り機能を軽視し戦略的重要性に気づかなかった。今回は、これまでの自撮りの歴史を再考し、自撮りの意義と重要性について考えてみることにする。

3 3 続インテリジェンスへのいざない 71

アラブ「イスラム国」のテロと

宗主国の爆撃機攻撃

今井 武

他山の石、対岸の火事というが、パリにおける無差別攻撃テロに世界中が震撼させられた。しかし、この背景には実に様々な歴史的事実の積み重ねがあることが解る。宗主国を名乗る欧州各国は報復行動を始めたが、そんなことで治まるとは誰も考えていないだろう。

3 6 連載 四字熟語力トレーニング

すぎやまチヒロ

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

| | |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| 第一章 目録が必要としているデータ | 第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート |
| 第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点 | 第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール |
| 第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス | 第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール |
| 第四章 リレーショナル・モデルとネストド・リレーショナル・モデル | 第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション |
| 第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス | |
| 第六章 データ・ウェアハウス管理システム | 付録 |

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

| | |
|------------------------------|------------------------|
| 第一章 これまでのEUCIでできなかったこと | 第七章 多次元データベースを作る |
| 第二章 OLAPの定義 | 第八章 多次元データベースの構築 |
| 第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール | 第九章 多次元データベースとアプリケーション |
| 第四章 分析処理の歴史 | 第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド |
| 第五章 OLAP(多次元データベース)の形 | 第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ |
| 第六章 データウェアハウスとOLAP | 付録 |

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

| | |
|-------------------|------------------------|
| 第一章 消費者行動論 | 第四章 消費者意志決定 |
| 第二章 消費者行動と心理的決定要素 | 第五章 消費者行動トピックス |
| 第三章 消費者行動と社会的決定要素 | 第六章 人間であること(人間行動トピックス) |

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシントリプル研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

| | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー | 第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除記 |
| 第二章 aism情報セキュリティマシントリプル研究会の発足 | 第十二章 メールが通らない |
| 第三章 認知される電子署名方式の基本原則 | 第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの建設 |
| 第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム | 第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得 |
| 第五章 情報システムにおけるリスク | 第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策 |
| 第六章 情報漏洩対策 | 第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育 |
| 第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク) | 第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」 |
| 第八章 aismの2014年度の事業計画 | 第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ |
| 第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題 | |
| 第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス | |

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

| | |
|-------------------------|-------------------|
| 第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題 | 第五章 情報システム監査 |
| 第二章 経営活動と情報システム | 第六章 情報システム部門の体制革新 |
| 第三章 経営情報システム革新の方向 | 第七章 情報システムの成果評価 |
| 第四章 トップ主導の情報システム開発 | 第八章 変化対応のシステム作り |

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

| | |
|-----------------------|------------------|
| 第一部 計量モデル | 第二部 大規模モデルの効率的解法 |
| 第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史 | 第五章 計量モデルの分解方法 |
| 第二章 線形計量モデルの解法 | 第六章 方型式のオーダーリング |
| 第三章 非線形計量モデルの解法 | 第七章 大規模モデルの解法 |
| 第四章 反復法の問題点 | 第八章 スパース |
| 付録・電子計算機の高速化と計量方法 | |

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

| | |
|----------------------|--------------------------|
| ■ 広報ビジネスの前提条件 | ■ 売れない企業体質 |
| ■ ニュースリリースは東方向運賃 | ■ 守るも攻めるも広報が窓口 |
| ■ 活字媒体の特性をチェックする | ■ あなたならどう対応する「事例編」 |
| ■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック | <付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ) |

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー—
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

| | |
|----------------------|--------------------------|
| 第一章 発端 | 第十一章 日本開港手続の違い |
| 第二章 あるプロジェクト | 第十二章 米軍チーム撤退の危機 |
| 第三章 新しいシステムへの働き | 第十三章 新たなメンバー |
| 第四章 WOOIに向けて | 第十四章 米軍撤退所帯と新たな組み |
| 第五章 FJO、IBM競争 | 第十五章 開港手続とハンタツ |
| 第六章 日本プロジェクトチームの発足 | 第十六章 ユーザー教育 |
| 第七章 プロジェクト開始 | 第十七章 日本運用体制と本番後日誌 |
| 第八章 米軍チーム立ち上りの流れ | 第十八章 既存システムとのデータ交換の問題 |
| 第九章 大きな壁、英語コミュニケーション | 第十九章 稼働時の一 直前、稼働、直後の苦しみ |
| 第十章 米軍チーム、異なる三人組 | 第二十章 稼働時の二 安室隆雄と北米センター移設 |

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp